



学校法人 麻機幼稚園 **♪園長だより♪**

令和6年9月号 R6.10.1 (火)

豊かな行事や活動満載 まず2学期のスタート月から

保育方針はHP「お知らせ」➡「R5園長だより3月号」をご覧ください

台風の大雨により1日遅れの9月3日に2学期がスタートしました。



朝泣いている子もいましたが、子どもたちが元気にこの一日を過ごしていたこととても嬉しく思いました。日程の関係で始業式を13時から行いましたが、みんな反応よく、元気に園長の話聞き、園歌を歌いました。

9月4日(水) **国際交流**で中国の方がお話をしてくださいました。今回は年中と年長と2部に分けての活動でした。



<中国のスルグリンさんが、お話してくださいましたこと>

○幼稚園児だとざわついてしまうことが多いのだけれど、年長はみんな興味をもって聞いていることを実感した。

こちらが出す質問や話の内容も反応して良く知っていた。大人でも知らないインドの国旗なども知っているの、びっくりした。幼稚園で国旗のことなどの話題にしているからだろう。この子たちは、学校に入ったらすごく優秀な子どもになるのではないかと思った。

○年中さんは、1年下だということでその違いは大きい、私の話にとっても興味を持っているという反応だった。話を聞く以上に、活動が始まるとすごくよく反応して、みんな楽しそうにやってくれた。**聞く⇄聴く 大切さ**

※みんなが集まって話を聞くと、まず、話す人や内容に興味をもって聴く姿勢になっている事、とても大事なことです。相手を意識することは、幼児であっても身に付けなければならないことだと思っています。

自分の知っていることを話したいという気持ちも大事です。でも、自分勝手に話していいのではなく、話すときと聞くときの区別を感じてほしいと思います。年中では、話をしている中に割り込んで話をしてしまう子がいても、年中主任はきちんとその子のそばについて、聞くことを促しています。スルグリンさんも時折「しー」と合図を出してくれました。聞く力は、学校教育では一番大事は力だと言っても過言ではありません。英語でもよくほめていただきます。子どもたちの強みとして伸ばしていきます。

施設改善

今年も暑い日が続きました。静岡市が全国1位の暑さの日もあり、子どもたちの健康が心配でした。そんな中、夏休み中にオレンジのマットが新しくなり、遊戯室とオレンジのエアコンも取り替えました。子どもたちが、運動で活動する場所を快適にしました。始業式でオレンジの写真を見せると、すぐにマットの新しさに気が付く子がいました。今年も大雨での被害が心配ですが、まずは災害や天候に対応した施設改善を計画的に進めていきたいと思っています。

綿 わた コットン



9月上旬に綿の実が付き始めました。こういうことに興味を持っている子がいるので、早速投げかけました。すると「おくらみたい」と言っていたので、どこがそうなのか聞いてみました。葉は似ていると思いますが、矢印の部分が似ているところだそうです。私はびっくりしました。綿の花はハイビスカスに似ているのです。夏休み中に咲ききってしまいました。オクラの花も似ています。彼は、花を見たわけでないのに、こんな小さな部分で似ていると思ったわけです。年少さんです。

園内自然環境設定の決め手は、特定の園児の興味関心を広げるため。そこからいろいろな子に可能性が広がります。

私が園の自然環境を設定するとき、決め手にするのは上の子どものような存在です。子どもと接している中で、この子の興味や可能性を伸ばすには、どんなことをしていけばいいのだろうかということです。今ある水槽の生き物や育ててきた植物はすべて、ある特定の子をイメージして設定しています。もちろん、そこに興味を示す子は、その子だけではなくぐんぐん意識が広がる環境設定を考えています。水槽の生き物はまさにそんな感じで、見に来る子がとてもたくさんいます。

あるお母さんに「ワタって見たことありますか？」と聞いてみました。こういうふうに生っているのは見たことがないと教えてくれました。「コットンですよ」という言葉に、とても新鮮さを感じました。綿って布団に入っていると子どもに説明するのですが、この綿が入っている布団を使っている家庭はとても少ないのではないかと思います。若い方たちも、綿よりコットンなんだと、言い方によるイメージの違いを改めて感じました。

時間外保育『オレンジ教室』～異年齢での交流が学びの場になるところ～

毎回大体20人程度の子どもたちが残って遊んでいます。オレンジ担当の専属職員が二人で、夏休み中も実施しています。「働いている方だけでなく、ちょっとした自分時間に活用していただくことも」と思っています。子育てに力を発揮していただくには、こういう時間も大切ですね。

異年齢での関わりには大きな価値があり、オレンジだからこそ育つものもあると思っています。担当の先生も個々の実態を捉えながら、とても懇ろに子どもに接しています。子どもが安心して過ごすことができる場づくりをしています。私もどっぴりと、新理事長も毎日のように子どもと関わりに来てくださいます。



新しいマットは快適です↑↑



年少でも話し合っ↑



こんなに集中して↑